

2023年1月31日

千葉県教育委員会

教育長 磯野 和美 様

教育総務部長 香取 徹哉 様

学校教育部長 鶴岡 克彦 様

千葉県立真砂中学校かがやき分校開設に向けての要望書

ちば夜間中学をつくる会代表 竹内悦子

貴職におかれましては、2023年4月の千葉県立真砂中学校かがやき分校開設に向けての

準備にご尽力をいただきありがとうございます。学び直しや、生活上の困難に対応するために学びを求める方々が、充実した教育を受けられるような配慮を求めたいと思います。

2020年の国勢調査によって千葉県内には最終学歴が小学校の方が2,371名、未就学者が592名いることがわかりました。このような方々が、学びたいと思った時に夜間中学の存在

は大きなものです。さまざまな背景を持った方が入学する夜間中学なので、昼間の中学校にはない課題が多いと考えられます。その課題解決のためには柔軟な対応が求められます。

昨年秋の説明会以後に私たちに寄せられた相談などから、以下、要望します。

1. 入学を求める方の希望がかなえられる対応について

高齢者で、公共交通を利用できない方が入学を断られたとの話がありました。車で

の通学が認められなかったために、入学を断念されました。高齢や障がい等で、何らかの支援が必要とされる方が夜間中学入学を希望された場合、学ぶ権利を保障するためにできる限りの対応を求めます。また、年度途中の入学希望者についても、受け入れてくださるよう要望します。

## 2. 修学年限の柔軟な運用について

入学者の中には、小学校が最終学歴の方や、未就学者がいることも予想されます。原則3年としていますが、課程を修了できないことが予測されます。札幌市の星友館中学や、今後開設が予定されている岡山市でも原則6年としています。柔軟な運用を求めます。

## 3. 教職員の十分な配置について

一人一人のニーズに対応するための、十分な教職員の配置を要望します。入学予定者は外国の方が多いと聞いています。まずは日本語の習得が必要です。さまざまなケースに対応できるための人員配置が必要です。

## 4. 給食実施に向けての検討について

当面は実施しないことが決まっていますが、勤労の後に夜間中学で学ぶ方にとっては、健康面からも、食事の確保が必要です。開校後の早い時期に、給食の実施に向けて検討してください。

## 5. 財政支援について

昼間の中学生については、家庭の状況によって就学援助制度があります。成年の方が多い夜間中学でも、学業を継続するための財政支援制度を充実してください。

## 6. 多様な学びについて

夜間中学は学びたい方にとって、最後の砦といわれます。今後の状況にもよりますが、オンラインの活用等、学びの機会が広がるような検討をお願いします。

お忙しい中とは存じますが、年度内に意見交換の機会をつくっていただけますようお願いいたします。

連絡先：千葉市花見川区幕張本郷3-3-8 竹内方

ちば夜間中学をつくる会 竹内悦子

TEL:090-1837-2385

Mail:e-take@mqb.biglobe.ne.jp